

# 【本実践の主張点】

作品に登場するアイテムを分類することで、**アイテムの効果**に着目し、読み味わうための見方・考え方を働かせ、**汎用性をもった読みの力**を育むことができるだろう。

本実践における「アイテム」の定義

(文学作品の)  
登場人物以外の名詞全て

# 初雪のふる日

安房直子 作  
寺門孝之 絵



秋の終わりの寒い日でした。

村の一本道に、小さな女の子がしゃがんでいました。女の子

は、うつむいて地面をながめていました。それから、首をかして、ほうっと大きな息をつくど、

「だれが、石けりしたんだろう。」

とつぶやきました。その道には、ろうせきでかかれた石けりの輪が、どこまでも続いていたので。どこまでも、どこまでも、橋をわたって、山の方まで。女の子は立ち上がって、目を真ん丸にして、

「なあんて長い石けり。」

とさけびました。それから、ろうせきの輪の中に、びよんと飛びこんでみました。すると、女の子の体は軽くなって、ゴムまりみたいにはずんできたのです。

かた足、かた足、両足、かた足――。

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。村でたった一軒の、たばこ屋の前を通りま

した。

うさぎがこう言いました。  
「止まっちゃいけない。後がつかえる。かた足、両足、  
とんとんとん。」

それだけで、女の子の体は、また、ゴムまりみたいに  
はずみだし、ろうせきの輪のとおりにとんでゆくのでした。  
とびながら、女の子は、一生けんめいおばあさんの話  
を思い出しました。あるとき、おばあさんははり仕事の  
手をちよつと休めて、こんなことを言いましたっけ。

「それでも、昔、たった一人だけ、白うさぎにさらわれて、  
生きて帰れた子どもがいたっけねえ。その子は、一生  
けんめいおまじないを唱えたのさ。よもぎ、よもぎ、  
春のよもぎって。よもぎは、まよけの草だからね。」

それなら、わたしもやってみようと、女の子は思いまし  
た。女の子は、とびながら、春のよもぎの野原を思いうか

べました。あたたかいお日様と、たんぼほの花と、みつば  
ちと、ちようちようのことを考えました。それから、大き  
く息をついて、  
「よもぎ、よもぎ——」。



それなら、わたしもやってみようと、女の子は思いまし  
た。女の子は、とびながら、春のよもぎの野原を思いうか

べました。あたたかいお日様と、たんぼほの花と、みつば  
ちと、ちようちようのことを考えました。それから、大き  
く息をついて、

「ちようちよう」は、女の子の思い  
浮かべたもの、実際に登場した生き  
物ではないことから本実践ではアイ  
テムとしている。



そこは、小さな団地だんちの前の小さな野原でした。

白いちょうが、二十も三十も、いえ、もっとたくさん飛んでいました。クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぼぼが、点々のもようになってさいています。その上を、おどるように飛んでいるちょうをぼんやり見ているうち、松井さんには、こんな声が聞こえてきました。

「よかったね。」

「よかったよ。」

「よかったね。」

「よかったよ。」

それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。

車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいがのこっています。



白いちょうが、二十も三十も、いえ、クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色点々のもようになってさいています。そのるちょうをぼんやり見ているうち、松井ヤきました。

「白いちょう（ちょう）」は、実際に登場し、主人公に聞こえる声で話すことから本実践ではアイテムではなく、登場人物となる。

# アイテムの効果と 育みたい汎用性をもった読みの力①

## 「一つの花」



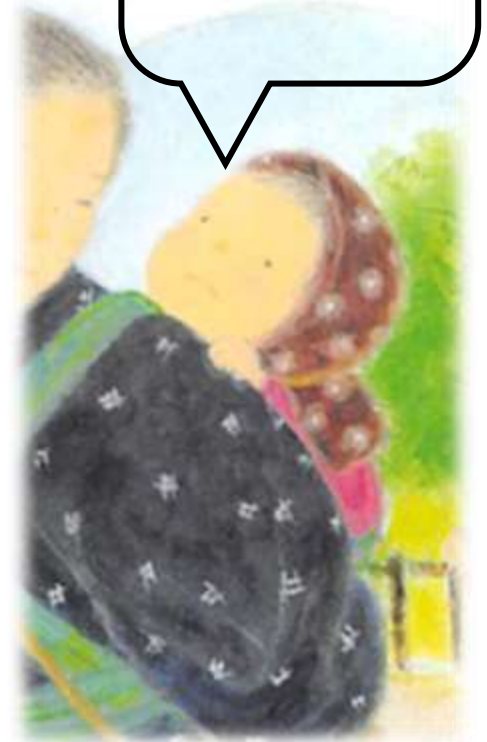
# 一輪のコスモス



## アイテムを 対比

・違和感に気づく。そして、父の想いに興味をもたせる。

（おにぎり）  
一つだけ  
ちょうだい。



◎ どうして、お父さんはゆみ子に一輪の  
コスモスの花をあげたのだろう。



三の場面  
(10年後)



一・二の場面  
(10年前)

対比



◎今西さんは三の場面（10年後）で、  
どんなことを伝えたかったのだろうか？



三の場面  
(10年後)



一・二の場面  
(10年前)

対比

① 「お肉とお魚と  
どっちがいいの。」

選ぶことができる

② 戦争終わり (平和)

③ よろこんでいる

④ いっぱいのコスモス

① 「一つだけ…」

おにぎり、おいも、かぼちゃ

選ぶことはできない

② 戦争中 (平和ではない)

③ よろこびはもらえない

④ コスモス一輪

アイテムを対比させる

# アイテムの効果と 育みたい汎用性をもった読みの力②

## 「ごんぎつね」





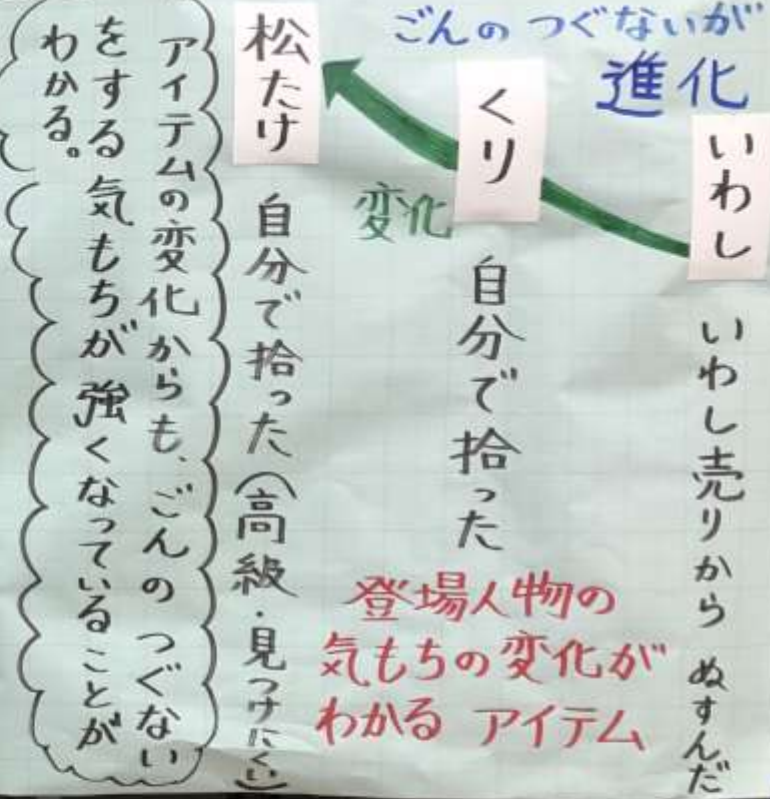
# 心情の変容（アイテム）

◎ つぐないの変化から  
ごんの気持ちを読み取ろう。



『ごんぎつね』 アイテムに注目

ごんの変化  
 アイテムの変化 目的の変化 行動の変化 考えの変化



- ① ごんは、そのすき間に、かこの中から五、六びきのいわしをつかみ出して、もと来た方へかけだしました。そして、兵十のうちのうら口から、うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。
- ② 次の日には、ごんは山でくりをどっさり拾って、それをかかえて兵十のうちへ行きました。(中略)  
 ごんは、これはしまったと思いました。「かわいそうに兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、あんなきずまでつけられたのか。」  
 ごんはこう思いながら、そっと物置の方へ回って、その入り口にくりを置いて帰りました。
- ③ 次の日も、ごんは、くりを拾っては兵十のうちへ持ってきてやりました。
- ④ その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持って行きました。  
 自分から行動
- ⑤ その明るる日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。兵十は、物置で縄をなっていました。それで、ごんは、うちのうら口から、こっそり中へ入りました。



# アイテムの効果と 育みたい汎用性をもった読みの力③

## 「初雪のふる日」





◎ **一番重要**なのはどのアイテムだろう？ 【本時】

初雪

よもぎの葉

歌

石けりの輪

アイテムの分類

なぜなぜ

雪

# 【本時の主張点】

アイテムの効果に着目することで文学  
作品の構造に目を向ける見方・考え方  
を働かせ、細部から文章全体を捉える  
読みの力を育むことができるだろう。



# ◎一番重要なのはどのアイテムだろう？ 【本時】

私は うーん なぞなぞのほうが 大事やなあと思う

既習の文学作品で学習した知識  
を、別の文脈でも活用し、課題  
を解決しようとしている児童



ウナギがきっかけやから 重要にした子多かったやろ



◎一番重要なのは、どのアイテムなのだろう。

「まいの葉」

理由は、その「まいの葉」がなにか  
いいところがある。女の子の帰ってこなかった  
のしるし。お母さん、お父さん、おまのうなきみれた  
らいているの。か、く、一まいの葉だか

「石けりの輪」

理由は、石けりの輪がある、  
か、始ま、り、の、き、か、ご、ん、ぎ、つ、た、  
ね、は、ま、り、の、き、か、ご、ん、ぎ、つ、た、  
の、き、か、ご、ん、ぎ、つ、た、

らです。

起承転結 ← 石けりの車輪  
結 ← 石けりの車輪

け、か、この、の、2、つ、た、か、ら、で、す。  
ム、だ、と、思、い、ま、す。  
ふ、り、返、り、の、理、由、は、こ、の、2、つ、か、や、ぱ、り、ア、イ、テ、  
ム、だ、と、思、い、ま、す。

「起承転結」の文学作品の構造  
に着目し、アイテムの効果を考え、  
重要なアイテムについて自己の読みを形成している児童

# 「起承転結」の文学作品の構造 に着目し、アイテムの効果を考え、重要なアイテムについて自己の読みを形成し、他の文学作品への活用する意思が見られる児童

21. 29. 6. 4. 29番  
 19番  
 15番  
 うさぎ ↓ さくら われる  
 なぞ なぞ  
 20番  
 ろけりのわ

ふり返り  
 今日  
 起承転結  
 承の所  
 石けり  
 輪

てあること  
 起承転結  
 承の所  
 石けり  
 輪

しが分かること  
 起承転結  
 承の所  
 石けり  
 輪

系転結のこと  
 起承転結  
 承の所  
 石けり  
 輪

けてみたいです  
 起承転結  
 承の所  
 石けり  
 輪

5. 26.  
 理由  
 女の子どもはよもぎの葉。はのおか  
 けで助かたから  
 葉の方が重要だと思ふ。  
 一つの花  
 たから  
 葉の  
 アイテムは  
 一つの花  
 たから  
 葉の  
 アイテムは  
 一つの花

① 一番重要な  
 理由  
 初雪と来た  
 初雪のふる日  
 アイテム  
 なのだらう  
 くるから  
 いう

④  
 アイテム  
 なのだらう  
 くるから  
 いう




# アイテムの分類【ワークシートより】

十二月十七日 国語 初雪のふる日◎ 名前 [REDACTED]

◎アイテムの役割を考えながら分けてみよう。

役割	アイテム
場所を伝える	村の本道・橋・キャベツ畑の細い道・たばこ屋・おかし屋・もみの森・こおた湖・公園の村・小さな町・大きな町・町の食堂・
時間(時期)を伝える	秋の終わり・日のくれないうち・雨ヨ
中心人物の様子を伝える (女の子)	赤いセーター・ポケット・ゴムまり・ぼほ・あせ
対人物の様子を伝える (うさぎ)・(ぶ)	白いすし・雪・歌
事件(出来事)が始まる きっかけとなる	石けりの輪・石けり・うさぎの輪
事件(出来事)が変わっていく きっかけとなる	よもぎの葉 <small>（葉）</small> ・なぞなぞ・おまじない まよひの草
物語の結末を伝える 【結】	バス・
役割がよくわからない	うさぎの毛・かわいたな雪・ゆめ

私はよもぎの葉だと思えます。なぜなら女の子を助けたのはこのよもぎの葉があったからだと思います。この葉がなければ多分生きてかえらなかったかたと思っただからです。



# アイテムの分類【ワークシートより】

十二月十七日 国語 初雪のふる日⑤ 名前 [ ]

◎アイテムの役割を考えながら分けてみよう。

役割	アイテム
場所を伝える	工場、たばこ屋、バスのていり、う場、村、 つお、た湖、山、食堂、橋、キャベツ畑 初冬、春、初雪、寒い日
中心人物の様子を伝える (女の子)	赤いセーター、あせ、ポケット、口足がぼろ、 手足はやいがんた、くろびる、 一本の白いすじ、うたごの歌、
対人物の様子を伝える (おばあちゃん)	初雪、石けりの輪
事件(出来事)が始まる きっかけとなる	よもぎの葉、草の種、草の種のい、い、い おばあちゃん、うたご
事件(出来事)が終わっていく きっかけとなる	バス、食堂、温かい物
物語の結末を伝える 「結」	おばあちゃん、大キキたよ大
役割がよくわからない	

ばくは、石けりの輪だと思ひます。命は、よもぎをけりのわがふが、たご、  
ストリーも初まらなれたとおもつし、雪うたごともあわな  
たと思ひながら、ばくは石けりのわたと思ひます。

# アイテムの分類【ワークシートより】

アイテムが、中心人物・対人物のどちらにも関わっているかを考え、より重要なアイテムとして自己の考えを深めている児童

十二月十七日 国語 初雪のふる日◎ 名前

◎アイテムの役割を考えながら分けてみよう。

役割	アイテム
場所を伝える	橋・山・キャヤリ畑・細い道・たはこ屋・山・村 入のていりう所・森・遠い所・小な早稲 根・知らない町・知らない道・町の入り口
時間(時期)を伝える	秋の終わり・寒い日・穴工はとよりと暗く 寒も冷たく・初雪のふる日
中心人物の様子を伝える (女の身)	ヨムマリ・ボルト・あらい息・赤いセーター 白いきょう・手足はかいぬ・ほほはきりぬ 心息・歌・おまじないバス 古けり・歌
対人物の様子を伝える (ついで)	ろ、つせまでかかれた百けりの輪
事件(出来事)が始まる きっかけとなる	夫のよきき・小さなちたう草の種がい 草の種の手・よききの言葉・おはあさんが聞い た話 おまじないの言葉・かる・バス
事件(出来事)が変わっていく きっかけとなる	歯・いぶき・お日様・たんぼほのサ化心 白いも・名前・住所・村の名前
物語の結末を伝える 「結」	
役割がよくわからない	

ぼくは、よききの言葉(おまじない)だと思っ、理由はよききの言葉が、おまじない、この女は、死んでるし、ごんごつおの、うなざり火、解けりうめた  
いに、中心人物と対人物にかんけいして、いるから、よききの言葉は、  
中心人物にも対人物にも、おまじない、かんけいして、いるから、です。



# 活用「白いぼうし」再読【ワークシートより】

「初雪のふる日」で学習した知識を活用し、文学作品の構造に着目し、アイテムの重要性を読み取っている児童

十二月二十二日 国語 白いぼうし 名前	
◎「初雪のふる日」で学習した方法で、アイテムの役割を考えながら分けてみよう。	
役割	アイテム
場所を伝える	細いうら通り・大通り・やなぎの下・ほりはた 運転席・茶の花櫛・茶の花櫛・町・小まな田地の前 小まな野原・いなか車道のまぐさば
時間(時期)を伝える	六月のはじめ 夏みかん 暑暑い日 もんしろなう クローバーたんぼほ
中心人物の様子を伝える (松井さん)	タクシー 白いワイシャツ アワセル ブリーキ 運転手
対人物の様子を伝える (女房・おまこ)	おまこば
事件(出来事)が始まる さっかけとなる	白いぼうし 赤いししゅうん水
事件(出来事)が変わっていく さっかけとなる	夏みかん バックミラー
物語の結末を伝える 【結】	小まな野原 夏みかんのにおい
役割がよくわからない	レモン おまこりんご

夏みかん 起の場面、承の場面、転の場面、結の場面  
どの場面においても、夏みかんは、かなり入っているから。  
夏みかん。においけきりどり。にているから。





# アイテムの分類【ワークシートより】

アイテムが、中心人物・対人物のどちらにも関わっているかを考え、より重要なアイテムとして自己の考えを深めている児童

十二月十七日 国語 初雪のふる日◎ 名前

◎アイテムの役割を考えながら分けてみよう。

役割	アイテム
場所を伝える	橋・山・キャヤリ畑・細い道・たほ屋・山・村 入のていりう所・森・遠い所・小な早稲 根・知らない町・知らない道・町の入り口
時間(時期)を伝える	秋の終わり・寒い日・穴工はとよりと暗く 寒も冷たく・初雪のふる日
中心人物の様子を伝える (女の身)	ヨムマリ・ボルト・あらい息・赤いセーター 白いきょう・手足はかいぬ・ほほはきりぬ 心息・歌・おまじないバス 古けり・歌
対人物の様子を伝える (ついで)	ろ、つせまでかかれた百けりの輪
事件(出来事)が始まる きっかけとなる	夫のよきき・小さなちたう草の種がい 草の種の手・よききの言葉・おばあさんが聞い た話 加減かいそのを食かる・バス
事件(出来事)が変わっていく きっかけとなる	歯・いぶき・お日様・たんぼぼのサ化・心 白いも・名前・住村・村の名前
物語の結末を伝える 「結」	
役割がよくわからない	

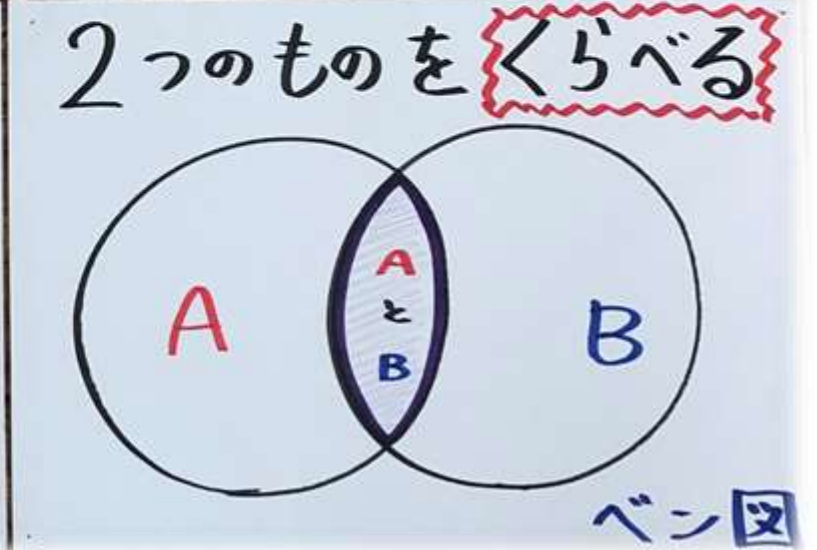
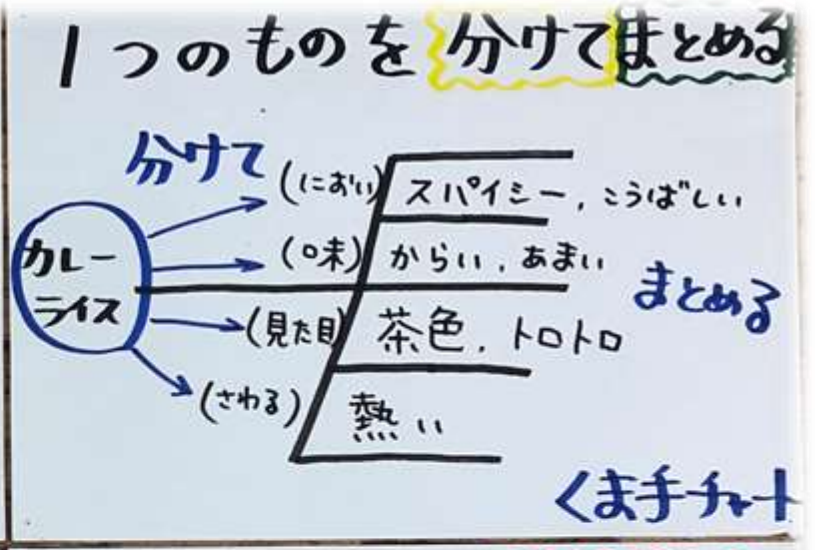
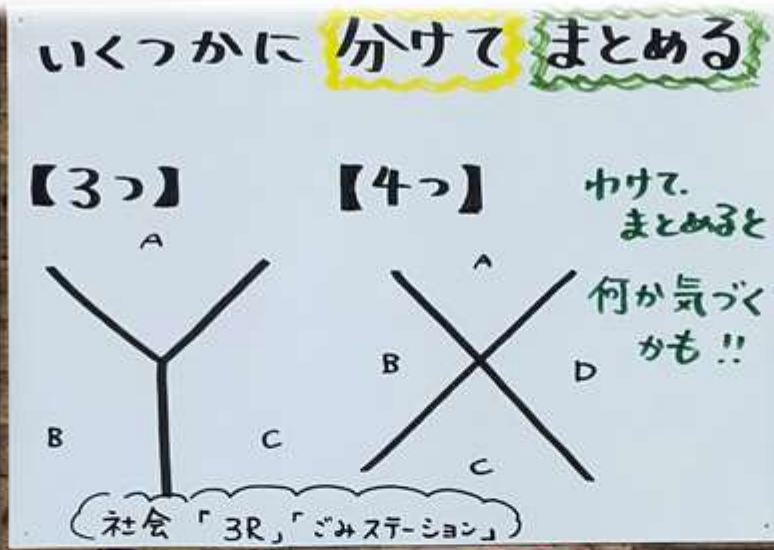
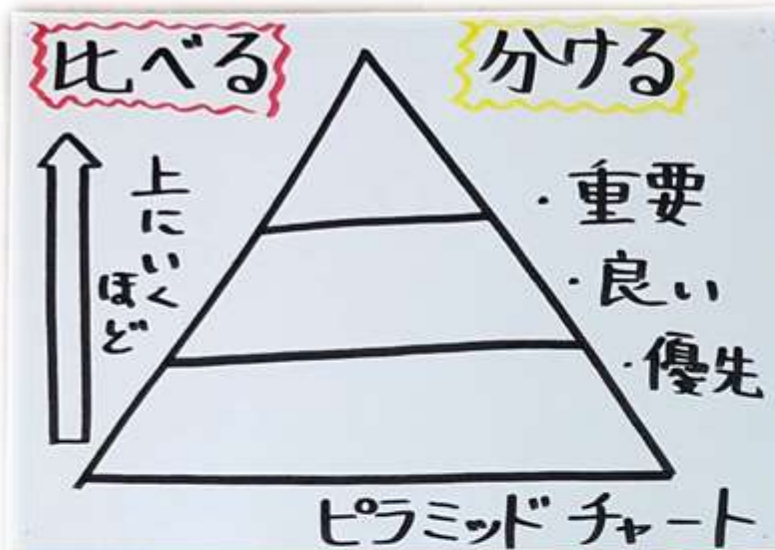
ぼくは、よききの言葉(おまじない)だと思え、理由はよききの言葉が、おまじない、この女は、死んでるし、ごんごつおの、うなざり火解けりうめた  
いに、中心人物と対人物にかんけいしているから、よききの言葉は、  
中心人物にも対人物にも、ちまかんけいしているからです。

# カリキュラムデザイン【思考ツールの活用】

考 える 技		
<b>比べる</b> 同じ所(共通点)は、 似ている所は、 違う所(相違点)は、 ○○○と△△△ ○○は～だけど(一方)、 △△は～。	<b>つなげる</b> ～だから・・・ ～と関係がある ～とつなげてみると…	<b>まとめる</b> 簡単にいうと、 まとめていうと、 つまり、
<b>分ける</b> 分けてみると、 仲間に分けると、 ○○つに分かれる	<b>予想する</b> もし～だったら、 ～になるかな 予想すると、	<b>見方を変える</b> ○○さんだったら、 △△側からみると、



# カリキュラムデザイン【思考ツールの活用】





# カリキュラムデザイン 【思考ツールの活用】

## 本時の姿



ヨモギの葉のほうか

# カリキュラムデザイン【思考ツールの活用】

## 算数科「調べ方と整理のしかた」

場所とけがの種類別のけが調べ（人）

場所	すりきず	打ぼく	ねんざ	切りきず
運動場	6	2	0	2
中庭	3	1	0	1
階だん	0	1	2	0
教室	0	2	0	0
体育館	1	1	1	0
ろうか	1	0	0	0
合計	11	7	3	3





# カリキュラムデザイン【思考ツールの活用】

## 国語科「聞き取りメモの工夫」

